

人間福祉学部 社会福祉学科 社会福祉専攻

授業科目	配当学年	単位数	授業概要
福祉マインド実践講座	1	2	これから社会福祉を広く学ぶ学生に対する具体的・実践的な「福祉マインド」を醸成するための導入教育を行い、座学と実践的なフィールドワークを織り交ぜた授業内容となっている。学内の講義では、福祉施設の職員等により、地域における福祉活動やボランティア活動の紹介を行う。本講座の担当教員及び外部講師は、自治会活動、民生委員活動、ボランティア活動、福祉施設等によるサービス提供及びイベント企画・実施等、地域における実際の福祉活動の推進に広く関わっているため、授業ではボランティア活動に関する具体的かつ実践的な指導が行われる。
福祉行財政と福祉計画	3	2	科目担当者は長年にわたり川崎市、横浜市、相模原市などの地域福祉保健計画の策定・推進委員、相模原市の自立支援協議会委員、川崎市子ども子育て会議の委員、東京都瑞穂町の社会福祉審議会のメンバーとして具体的な政策立案、推進、評価などに関わっている。これらの経験を生かしたわが国の福祉政策における実務上の課題や取り組みポイントについて実践経験を交えた講義を行う。
ソーシャルワーク実習	3	4	高齢者関係施設、障害者関係施設、児童関係施設、その他福祉現場の職員から直接指導を受けながら、様々な生活上の問題を抱える福祉サービスの利用者の相談等にあたり、福祉計画に基づく実践によって問題解決の過程を経験し、多様な援助のあり方を学修する。
精神保健福祉援助実習I	3	2	精神保健福祉士に必要な資質、技能、倫理をもち、クライアントの課題に対して総合的に対応できる能力を身につけるため、地域の施設・機関等の現場において、実習指導者の指導のもと、精神障害者の置かれている現状を理解し、生活上の課題やニーズをアセスメントし支援を考える。
精神保健福祉援助実習II	3	2	精神保健福祉士に必要な資質、技能、倫理をもち、クライアントの課題に対して総合的に対応できる能力を身につけるため、精神科医療機関の現場において、実習指導者の指導のもと、精神障害者の置かれている現状を理解し、生活上の課題やニーズをアセスメントし支援を考える。
医療ソーシャルワーク実習	4	1	医療ソーシャルワーカーに必要な能力を身に付けるため、医療機関等の臨床現場において、実習指導者の指導のもと、約2週間の実習を行う。面接の同席やカンファレンスの出席を通じて、多様なケースのアセスメントやプランニングを行う。なお、元医療ソーシャルワーカーの教員がその現場経験を生かし、実習が現実的かつ学生のキャリア教育になるよう巡回指導を行う。
スクールソーシャルワーク実習	4	2	児童福祉と学校教育が同根異種であることを確認しながら、その連携・協働を促進し得るアプローチについて、実際に職務に従事するスクールソーシャルワーカーの実習指導のもと、教育現場におけるソーシャルワークの実習を行う。

合計 15 単位

人間福祉学部 社会福祉学科 介護福祉専攻

授業科目	配当学年	単位数	授業概要
福祉マインド実践講座	1	2	これから社会福祉を広く学ぶ学生に対する具体的・実践的な「福祉マインド」を醸成するための導入教育を行い、座学と実践的なフィールドワークを織り交ぜた授業内容となっている。学内の講義では、福祉施設の職員等により、地域における福祉活動やボランティア活動の紹介を行う。本講座の担当教員及び外部講師は、自治会活動、民生委員活動、ボランティア活動、福祉施設等によるサービス提供及びイベント企画・実施等、地域における実際の福祉活動の推進に広く関わっているため、授業ではボランティア活動に関する具体的かつ実践的な指導が行われる。
福祉行財政と福祉計画	3	2	科目担当者は長年にわたり川崎市、横浜市、相模原市などの地域福祉保健計画の策定・推進委員、相模原市の自立支援協議会委員、川崎市の子ども子育て会議の委員、東京都瑞穂町の社会福祉審議会のメンバーとして具体的な政策立案、推進、評価などに関わっている。これらの経験を生かしたわが国の福祉政策における実務上の課題や取り組みポイントについて実践経験を交えた講義を行う。
ソーシャルワーク実習	3	4	高齢者関係施設、障害者関係施設、児童関係施設、その他福祉現場の職員から直接指導を受けながら、様々な生活上の問題を抱える福祉サービスの利用者の相談等に当たり、福祉計画に基づく実践によって問題解決の過程を経験し、多様な援助のあり方を学修する。
介護実習Ⅰ-1	1	1	障害者支援施設等の現場において、実習指導者の指導のもと、基本的な生活支援を通して、対象者の状況に応じた介護技術の習得を図り、実習施設・事業所のカンファレンスに参加し、多職種での役割と連携について理解する。
介護実習Ⅰ-2	1	2	介護老人保健施設等の現場において、実習指導者の指導のもと、対象者本人や家族とのコミュニケーションを通じて個々の生活リズムや個性を把握し、自立に向けた支援を学び、生活支援を行う基礎的な能力を習得する。また、多職種との協働の中で、介護福祉士としての役割を理解するとともにカンファレンス等を通じて、多職種連携やチームケアを体験的に学ぶ。
介護実習Ⅱ-1	2	3	介護老人福祉施設等の現場において、実習指導者の指導のもと、個々の対象者の生活背景やリズムを理解し、必要な情報を収集し日常生活の課題を明確にした上で、自立支援の観点から介護計画の立案を行う。また、訪問介護事業所の介護現場において、実習指導者の指導のもと、在宅で生活する対象者の理解と訪問介護の役割・機能等について学ぶ。
介護実習Ⅱ-2	2	4	介護老人福祉施設や介護老人保健施設等の現場において、実習指導者の指導のもと、個々の対象者の生活背景や生活リズム、心身の状況などを把握した上で個別性を理解し、それらをふまえてアセスメント、介護計画の立案、実施、考察、評価の一連の介護過程のプロセスを実践することにより、介護福祉士に必要な思考能力を身につける。

合計 18 単位

人間福祉学部 心理福祉学科

授業科目	配当学年	単位数	授業概要
福祉マインド実践講座	1	2	これから社会福祉を広く学ぶ学生に対する具体的・実践的な「福祉マインド」を醸成するための導入教育を行い、座学と実践的なフィールドワークを織り交ぜた授業内容となっている。学内の講義では、福祉施設の職員等により、地域における福祉活動やボランティア活動の紹介を行う。本講座の担当教員及び外部講師は、自治会活動、民生委員活動、ボランティア活動、福祉施設等によるサービス提供及びイベント企画・実施等、地域における実際の福祉活動の推進に広く関わっているため、授業ではボランティア活動に関する具体的かつ実践的な指導が行われる。
福祉行財政と福祉計画	3	2	科目担当者は長年にわたり川崎市、横浜市、相模原市などの地域福祉保健計画の策定・推進委員、相模原市の自立支援協議会委員、川崎市の子ども子育て会議の委員、東京都瑞穂町の社会福祉審議会のメンバーとして具体的な政策立案、推進、評価などに関わっている。これらの経験を生かしたわが国の福祉政策における実務上の課題や取り組みポイントについて実践経験を交えた講義を行う。
ソーシャルワーク実習	3	4	高齢者関係施設、障害者関係施設、児童関係施設、その他福祉現場の職員から直接指導を受けながら、様々な生活上の問題を抱える福祉サービスの利用者の相談等にあたり、福祉計画に基づく実践によって問題解決の過程を経験し、多様な援助のあり方を学修する。
視覚障害者指導法	3	1	特別支援学校教諭、特別支援学校長の経験を有する科目担当者が、その経験を生かし、視覚障害教育の歴史や今日的課題を見据え、視覚障害教育のシステムや指導法等、特別支援教育時代の視覚障害教育のあり方について、実践的な内容で授業を行う。
聴覚障害者指導法	3	1	特別支援学校教諭、特別支援学校長の経験を有する科目担当者が、その経験を生かし、聴覚障害教育の歴史や今日的意義と課題を明らかにし、実践的な内容の授業を行う。
重複障害者教育指導法	3	1	特別支援学校教諭、特別支援学校長の経験を有する科目担当者が、その経験を生かし、重複障害の特性と重複障害者に対する指導のあり方について、実践的、今日的な内容で授業を行う。
特別支援教育実習指導	4	1	特別支援学校教諭、特別支援学校長の経験を有する科目担当者が、その経験を生かし、特別支援学校の教育課程及び教育実習のあり方や障害児への指導、特に学習指導案作りについて、実践的、今日的な内容で授業を行う。
特別支援教育実習	4	2	特別支援学校教諭、特別支援学校長の経験を有する科目担当者による実習の事前・事後の指導とともに、実習を通じて指導教諭から直接指導を受けながら学校現場の現状を知り、特別支援教育の実践的知識や技術を習得する。また、教職に対する自らの適性、教師としての心構えを学び、教育実習に対する評価を踏まえ、教師としての課題を知る。

合計 14 単位

子ども未来学部 子ども未来学科

授業科目	配当学年	単位数	授業概要
保育マインド実践講座	1	2	保育の初学者を対象に「保育マインド」を実践的に学ぶ本講座では、保育現場における幼稚園教諭並びに福祉現場における社会福祉士としての勤務経験がある担当教員が、その実務経験を生かして、専門的知識や技術のみならず多様な視点から総合的な保育について教育を行う。
保育原理	1	2	幼稚園教育における園長等の経験がある担当教員が、その経験を生かして、保育の意義及び目的、保育に関する法令及び制度、保育所保育指針における保育の基本等に関する講義を通じて保育の原理や課題について指導する。
社会福祉概論	1	2	児童福祉施設での勤務経験や法務省の保護司としての経験を有する担当教員が、その経験を生かし、現代の社会福祉が抱える限界と可能性について、今日的な福祉課題や時事を交えつつ講義する。
子ども家庭福祉論	1	2	本講座の担当教員は、社会福祉士として障がいの子どもや家族、利用者への支援、社会福祉協議会での権利擁護活動等、福祉現場における幅広い実務経験から、今日の子ども家庭福祉を取り巻く課題及び子どもや家族等への権利擁護の視点に基づいた実践方法について講義する。
幼稚園教育実習指導Ⅰ	2	1	幼児教育現場における教諭経験豊かな担当教員が、その経験を生かして具体的な保育実践の事例を示し、幼稚園での実習に必要な心構えや態度、基本的な知識・技能等、実際の幼児教育に役立つ指導を行う。
幼稚園教育実習指導Ⅱ	4	1	幼児教育現場における教諭経験豊かな担当教員が、その経験を生かして具体的な保育実践の事例を示し、子どもの実態に即した幼児教育の展開に向け、実践に役立つ記録のとり方や指導案の立案等、実際の幼児教育に役立つ指導を行う。
保育所実習指導Ⅰ	2・3	1	幼稚園教諭・保育士として保育現場での勤務経験を持つ担当教員が、その経験を生かし、保育所における保育内容の理解、実習日誌の書き方や責任実習(部分実習)の指導案の立案等、実際の現場に即した実習指導を行う。
保育所実習Ⅰ	2・3	2	保育現場で働く保育士から直接指導を受け、観察・参加実習を行う。乳幼児への理解を深めるとともに、保育所の機能及び保育士の職務について実践的に学び、総合的に応用する保育実践力を養い、自らの保育士像を確立していく。
保育所実習指導Ⅱ	3・4	1	幼稚園教諭・保育士として保育現場での勤務経験を持つ担当教員が、その経験を生かし、保育現場での学びをより深めるために必要な心構えや知識・技術を整理し、実習日誌の書き方や子どもの生活に即した保育の展開に向けた指導案の立案等、実際の現場で役立つ実践的な実習指導を行う。
保育・教職実践演習(幼稚園)	4	2	幼稚園教諭や福祉施設職員等の経験を有する担当教員が、その経験を生かし、子ども理解、保育内容、保育教材、保育技術、保育の環境構成、指導計画、保育者の役割と援助、担任業務と学級運営、現代社会において求められる幼稚園・保育所・施設の機能と役割等について、受講生同士の主体的な協議・検討を通じて、協働的・実践的な学修となるよう指導を行う。

合計 16 単位

人間科学部 心理学科 (平成31年4月開設)

授業科目	配当学年	単位数	授業概要
精神疾患と心理療法	2	2	臨床心理士として精神科病院で心理療法の実務経験を有する担当教員のもと、高度な心理支援技術の理解として精神疾患の治療に適応となる心理療法について学び、心理支援に関する知識の精緻化を行う。
関係行政論	2	2	行政機関において心理支援実践経験を有する教員が授業を担当し、保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の各分野で心理専門職が関係する法律や制度、関係や協力する行政機関について講義を行う。
心理的アセスメント演習	2	1	臨床心理士として病院等様々な領域で心理的アセスメント実務経験を有する担当教員のもとで、面接、観察、心理検査の種類や実施法、適切な分析と報告のあり方も含めた心理アセスメントの基礎的な演習を行う。
心理学的支援法演習	2	1	臨床心理士として病院等により心理支援の実務経験を有する担当教員のもとで、基本的な個別・集団心理面接技法をはじめいくつかの具体的な支援技法を、シナリオ等を用いた模擬的演習課題として行う。
心理演習 I	2	1	臨床心理士や公認心理師として病院・行政機関・大学等での心理支援実践経験を有する担当教員のもとで、「心理実習 I」で取り組む実習領域に関連した、シナリオを用いたロールプレイ形式の演習を以下の点から行う。①実習領域で支援を要する者へのコミュニケーション、心理検査、心理面接、地域支援など、②支援を要する者の理解とニーズ把握、支援計画作成、③支援を要する者の現実生活を踏まえたチームアプローチのあり方、特に多職種連携や地域連携についてのシミュレーション、④実習領域における公認心理師としての職務倫理と法的義務の理解と適用。なお、「心理実習 I」の事前指導も演習担当者が兼ねる。
心理演習 II	3	1	臨床心理士や公認心理師として病院・行政機関・大学等での心理支援実践経験を有する担当教員のもとで、「心理実習 II」で取り組む実習領域に関連した、シナリオを用いたロールプレイ形式の演習を以下の点から行う。①実習領域で支援を要する者へのコミュニケーション、心理検査、心理面接、地域支援など、②支援を要する者の理解とニーズ把握、支援計画作成、③支援を要する者の現実生活を踏まえたチームアプローチのあり方、特に多職種連携や地域連携についてのシミュレーション、④実習領域における公認心理師としての職務倫理と法的義務の理解と適用。なお、「心理実習 II」の事前指導も演習担当者が兼ねる。
心理実習 I	2	1	保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の5分野から、この開講期に指定された施設、機関へ見学等の実習を行い、各分野で臨床心理士もしくは公認心理師の資格を有し心理職として勤務する実習指導者、または臨床心理士もしくは公認心理師等の資格を有し心理支援の実務経験のある教員による指導を受ける。
心理実習 II	3	1	保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の5分野から、この開講期に指定された施設、機関へ見学等の実習を行い、各分野で臨床心理士もしくは公認心理師の資格を有し心理職として勤務する実習指導者、または臨床心理士もしくは公認心理師等の資格を有し心理支援の実務経験のある教員による指導を受ける。
表現療法の理論と実践	3	2	臨床心理士として実務経験のある担当教員のもと、ロールプレイによる表現技法である心理劇を題材として、表現療法全体に含まれる心理学的意義や機序について学び、心理支援技法としての理解を深めていく。
コンサルテーション・リエゾン活動論	3	2	臨床心理士としてコンサルテーション・リエゾンの実務経験を有する担当教員が、コンサルテーション・リエゾン活動の理論について歴史的経緯も含めて講義する。また、コンサルテーション・リエゾン活動の実際例も提示し留意点や課題についても講義する。
子どもの心理支援とペアレントトレーニング	3	2	臨床心理士としてペアレントトレーニングのプログラム立案や実施経験のある担当教員が、ペアレントトレーニングの理論と実際を講義する。また簡単な模擬プログラムも体験してもらいながら子育て支援の具体的な技法を学んでいく。
認知機能の低下・障がいと心理支援	3	2	臨床心理士としてリハビリテーション病院等で実務経験のある担当教員のもと、認知機能の低下や障がいもたらす行為、対人態度への影響を、認知心理学や神経心理学などの理論と脳、神経、生理学的側面とを対応させながら学ぶ。また、この領域に相当する障がいや疾患を抱える人々の日常生活における心理的困難や支援について具体例をあげながら考察を深めていく。

合計 18 単位